



\*本リリースの赤字部分は、2024年1月5日以降に更新した情報となります。

# 京都国立博物館 明治古都館がメイン会場に 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2024」開催決定！

開催期間：2024年3月1日(金)～3月3日(日)



## 国内外のトップアーティストと若手アーティストの才能が京都に集結 フェア史上初の3日間開催！次世代を担うフェアが、さらなるスケールアップで始動

京都府、京都新聞、ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会は、歴史ある京都を舞台にしたアーティスト主導のアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO 2024（アーティストズ フェア キョウト）」を2024年3月1日(金)から3月3日(日)に開催いたします。

本イベントは、次世代のアーティストが世に羽ばたくためのきっかけづくりとして、また来場者とアーティストとのコミュニケーションを生み出す場としてこれまでのアートフェアの枠組みを超えたフェアとして7回目を迎えます。

まだ見ぬアートシステムが生まれる事を願い「Singularity of Art（シンギュラリティ オブ アート）」をテーマに、ディレクターに椿昇、若手アーティストを推薦するアーティスト「アドバイザーボード」には、本フェア初参加となるBosco Sodi（ボスコ・ソディ）、やんツらを迎えた16組が並びます。出品アーティストは、アドバイザーボードと公募により選出された可能性溢れる若手アーティスト44組。

メイン会場は、今回初となる京都国立博物館 明治古都館と例年インダストリアルな空間で作品を演出する、京都新聞ビル 地下1階に決定いたしました。この趣のあるユニークヴェニューで、ペインティングからテクノロジーを駆使したインスタレーションまで、多種多様な表現手法の作品を展示・販売いたします。さらに、京都の街中に展開するサテライト会場や若手批評家育成プロジェクトも継続いたします。

また、前回の「ARTISTS' FAIR KYOTO 2023 マイナビ ART AWARD」最優秀賞受賞者、宇留野圭による個展「CLEAN ROOM 清潔で空虚なある部屋の物語」が銀座・歌舞伎座タワー22Fに新設された「MYNAVI ART SQUARE」で2023年10月10日(火)から2024年1月20日(土)まで開催されています。美術展とアートフェアをポードレスにスケールアップしながら展開するフェアにご期待ください。

### プロジェクトに関するお問い合わせ

京都府、京都新聞  
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会  
(事務局：京都府文化庁文化芸術課)  
<https://www.artists-fair.kyoto/>

### 取材・掲載についてのお問い合わせ

取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。  
広報担当：篠原礼子 (liil inc.)  
E-mail:reiko@liil.com / CEL : 090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます  
<https://bit.ly/46yOt0g>



## ■ ディレクターからのメッセージ



ARTISTS' FAIR KYOTO  
ディレクター 穂昇

### 悟空よさらば

失われた30年がどんどん延びて行きそうないま、一体何が失われたのが重要だ。端的に言えば長く続くデフレの中で給与が増えない事や、少子高齢化の深刻化など様々な要因が絡んでいると思う。しかしその根底にあるのは「現実以上に落ち込んでゆく諦めの感情」という見えない霧なのでは無いか。液晶テレビ越しにメディアが流す情報は、新旧を問わずどれも金太郎飴のように均質化する。では、日本を嘆いているのかと言えばそうではない。実のところ世界中が似たり寄ったりのモノカルチャー化に覆われている。SNSは、利便性と引き換えに、AIへの無制限な個人情報の提供と同調圧力を生成したに過ぎない。先日出逢ったチャーミングなアメリカ人大コレクターがウインクしながらこう言った「お金持ちはお金持ちが持っている作品が欲しいのよ！」と。

このフェアは、「自分の好みは他人とは違うのではないか…」という漠然とした想いを確かめる小さなお手伝いを続けて行く。趣味趣向は数多くの作品をコレクションしてゆくうちに変化する。その変化の先に素晴らしい自己が立ち上がる事を保証したい。釈迦の手のひらから出られない悟空はもう過去のものにしようではないか。

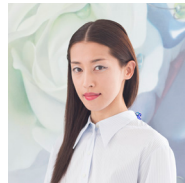
## ■ アドバイザリーボード16組(若手を推薦するアーティスト)



池田光弘  
撮影: Mahiro Tsuruda



伊庭靖子



薄久保香  
撮影: Kenshu Shintsubo



大庭大介



小谷元彦



加藤泉  
撮影: Guillaume Ziccarelli



鬼頭健吾



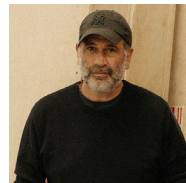
田村友一郎



鶴田憲次



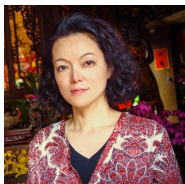
名和晃平  
撮影: Nobutada OMOTE | SANDWICH



Bosco Sodi  
撮影: Maureen Evans



ミヤケマイ  
撮影: Norio Kidera



やなぎみわ  
撮影: SHEN Chao-Liang



ヤノケンジ



やんツ



Yotta

## ■ 特徴

- ・作家×観客のダイレクトなコミュニケーションによって完成する、オルタナティブなアートフェア
- ・歴史ある京都を舞台に、現代アートの最前線を体感できる
- ・出品アーティストを対象に、特に優れた作品を選出し、活動の後押し行うART AWARDの開催

## ■ クリエイティブメンバー

プロデューサー  
高岩シュン

グラフィックデザイン  
UMA / design farm

会場デザイン  
dot architects (ドットアーキテツ)





## ■ 出品アーティスト

【若手アーティスト：44組】( )内は推薦アーティスト、又は公募選出者 ※2024年1月05日現在

石田成弘(池田光弘) / 石山未来(薄久保香) / 伊藤美優(鬼頭健吾) / 内海紗英子(公募) / 遠藤文香(ミヤケマイ) / 大上巧真(大庭大介) / 岡本ピシヨワピクラムグルン(池田光弘) / Officell(公募) / カタルシスの岸边(小谷元彦) / 清方(鶴田憲次) / 倉知朋之介(Yotta) / Christopher Loden(やんツー) / 小西梨絵(大庭大介) / 佐藤壮馬(公募) / 鮫島ゆい(公募) / 志賀耕太(田村友一郎) / 品川美香(公募) / 徳永葵(鶴田憲次) / 鳥越愛良(鬼頭健吾) / 西垣肇也樹(公募) / 西村大樹(公募) / 西凌平(椿昇) / 花形楨(やんツー) / 久村卓(ミヤケマイ) / 方圓(Fang Yuan)(公募) / ブルノ・ポテラ(名和晃平) / 松岡勇樹(やなぎみわ) / 松元悠(伊庭靖子) / 丸井花穂(椿昇) / 三宅佑紀(伊庭靖子) / 宮原野乃実(公募) / 森山佐紀(公募) / 森夕香(公募) / 保良雄(加藤泉) / 山田愛(小谷元彦) / 山羽春季(公募) / 山本和真(薄久保香) / 山本将吾(田村友一郎) / 吉浦真琴(やなぎみわ) / 米村優人(Yotta) / 米山舞(ヤノベケンジ) / 廖元溢(Liao Yuan Yi)(鬼頭健吾) / リュ・ジェユン(公募) / 劉李杰(Liu Lijie)(公募)

## 出品アーティストの作品イメージ(一部ご紹介)



遠藤文香《A Cow》



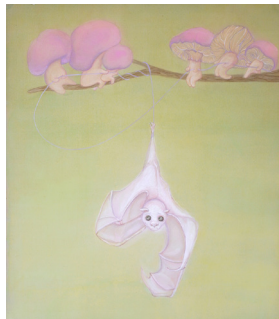
松元悠《蛇口泥棒(長浜市、東近江市、砺波市)》



ブルノ・ポテラ《Adonnant Convoi》



倉知朋之介《ラズベリーフィールド》撮影：竹久直樹



方圓《小人の国 蝠・福到来》

## ■ 京都国立博物館 明治古都館について

明治古都館は、1897年(明治30年)5月1日に「帝國京都博物館」として開館しました。大和大路通りに面した表門(西門)から七条通りに面する南門に続く塀も、時を同じくして建てられました。設計したのは、宮内省内匠寮の技師であった片山東熊(かたやまとうくま)。日本建築界の草分けの一人です。「宮廷建築家」と呼ばれた片山が手掛けたこの建物の外観はフランス・ルネサンス・バロック様式を取り入れながらも、日本的な抒情性や繊細な感覚が見事に表現されています。建築がすすめられた当初は、古都・京都に洋風の建物は似合わないという反対もあったそうですが、今ではすっかり東山の景観に溶け込み、歴史の一部となっています。内部は玄関ホール、中央ホールのほか、大小10室の陳列室及び中庭が左右対称に配置されています。1969年(昭和44年)には、旧帝國京都博物館本館、表門、札売り場及び袖塀は重要文化財に指定されました。



京都国立博物館 明治古都館



## 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2023 マイナビ ART AWARD」最優秀賞 受賞者 宇留野圭による個展「CLEAN ROOM 清潔で空虚なある部屋の物語」開催

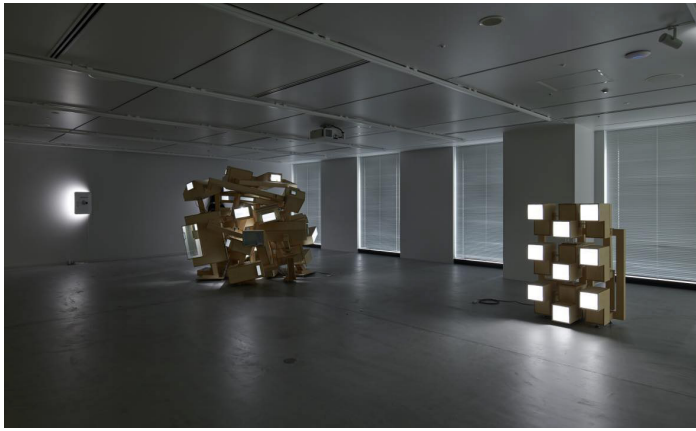


Photo: Shinichi Ichikawa

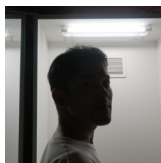
MYNAVI ART SQUARE (MASQ) 第2回目となる展覧会では、アーティストが企画から出品まで自ら行い、世界のマーケットを見据えた次の次元へとアーティストの活躍の場を拡大させることを目指したアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO 2023」で マイナビ ART AWARD・最優秀賞を受賞したアーティスト・宇留野圭の個展を開催します。

生活空間における身近なモチーフをもとに、空間を構成する断片的要素や部品、機械の構造を用いた立体作品やインスタレーションを制作する宇留野圭による本展覧会では、今夏、マイナビによるアートプラットフォームとして機能・役割を与えられ、生まれたばかりである「MYNAVI ART SQUARE (MASQ)」を「部屋」のメタファーを用いて捉え直し、空間としての機能を分解、読み直すことから始まります。

「部屋」は特定の機能・性質を内包する「とじられた空間」であるとともに、部屋それ自体の表象だけでなく、そこに属する人間やそれを取り巻く社会など様々な状況や状態を表象し、その外に広がる大きな空間、あるいは社会の存在を指し示す「ひらかれた構成要素の一部」であるともいえます。

つくられた時点で「機能化され、無駄の排除された部屋」であるMASQをモチーフとして、この「部屋」を構成するものはなんなのか。

「CLEAN ROOM」と題された本展では、それらを部品のようにバラバラに分解し、説明書のない機械を組み立てるように、抽象化され、清潔な、ある部屋の物語からその外側の世界を想像することを試みます。



宇留野圭

1993年 岐阜県生まれ。2023年 名古屋芸術大学 大学院美術研究科修了。

部屋や洗面台などの身近なモチーフを元に、機械の構造を用いた立体作品や舞台装置の様なインスタレーション作品を制作している。

### イベント概要 宇留野圭「CLEAN ROOM 清潔で空虚なある部屋の物語」

会 期： 2023年10月10日(火)– 2024年1月20日(土)

会 場： MYNAVI ART SQUARE (〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15 歌舞伎座タワー 22F)

時 間： 11:00~18:00

休館日： 日・月・祝

入場料： 無料

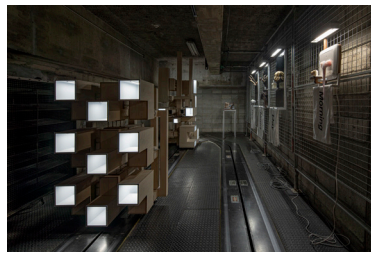
U R L： <https://artsquare.mynavi.jp/>

### 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2023」マイナビ ART AWARD 最優秀賞 受賞

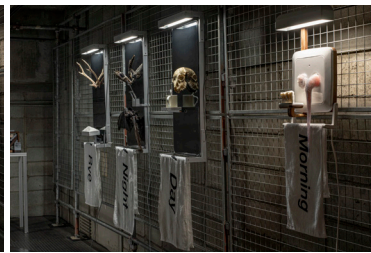
撮影：KUBI STUDIO



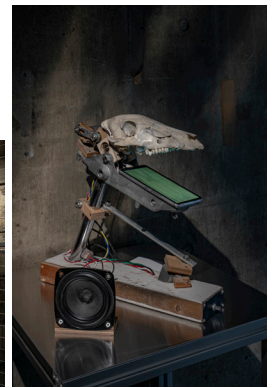
授賞式に登壇する宇留野圭



宇留野圭による作品群



手前から《Good Morning》《Good Day》《Good Night》 《TR-008(猪の頭骨で作られた犬のロボット)》《Good Bye》



#### プロジェクトに関するお問い合わせ

京都府、京都新聞  
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会  
(事務局：京都府文化生活部文化芸術課)  
<https://www.artists-fair.kyoto/>

#### 取材・掲載についてのお問い合わせ

取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。  
広報担当：篠原礼子 (liil inc.)  
E-mail:reiko@liil.com / CEL : 090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます

<https://bit.ly/46yOt0g>





<開催概要>

ARTISTS' FAIR KYOTO 2024

メイン会場

会場： 京都国立博物館 明治古都館（京都市東山区茶屋町527）  
京都新聞ビル 地下1階（京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町239）

日程： 2024年3月1日（金）～3月3日（日）

時間： 京都国立博物館 明治古都館 9:30～17:00（最終入場16:30）  
京都新聞ビル 地下1階 10:00～17:00（最終入場16:30）

入場料：【単館券】京都国立博物館 明治古都館：一般2,000円/大学生1,000円（要・学生証）  
京都新聞ビル 地下1階：無料

【セット券】一般2,500円 / 大学生1,500円

※未就学児は無料（要保護者同伴）

※高校生以下無料（要・学生証）

※障がい者手帳等を御提示の方と付き添い1名までは無料

URL： <https://artists-fair.kyoto/>

<お問い合わせ>

ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会

TEL： 075-414-4219（10:00-17:00 / 土日祝休み）

主催： 京都府、京都新聞、ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会

後援： 経済産業省、文化庁、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会

■メイン会場



京都国立博物館 明治古都館



京都新聞ビル 地下1階

■ 2023年開催の様子

「ARTISTS' FAIR KYOTO 2023」開催の様子

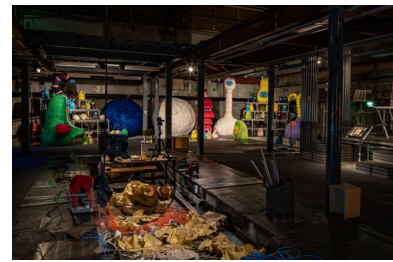
撮影：KUBI STUDIO



ARTISTS' FAIR KYOTO 2023  
マイナビ ART AWARD 授賞式



京都府京都文化博物館 別館（メイン会場）



京都新聞ビル 地下1階（メイン会場）



東本願寺御影堂門前、Yottaによる作品《花子》が登場



涉成園（枳殻邸）若手アーティストによる展示・販売と  
アドバイザリーボードによる展覧会



千丸屋京湯葉本店（サテライト会場）

プロジェクトに関するお問い合わせ

京都府、京都新聞  
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会  
（事務局：京都府文化庁生活文化芸術課）  
<https://www.artists-fair.kyoto/>

取材・掲載についてのお問い合わせ

取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。  
広報担当：篠原礼子（liil inc.）  
E-mail:reiko@liil.com / CEL：090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます

<https://bit.ly/46yOt0g>